

地域の「学びの場」を奪わないで!

統廃合ではなく 少人数学級の充実を



愛知県教育委員会は2021年12月、2023年度より稲沢高校・稲沢東高校・尾西高校を稲沢高校に統廃合、津島北高校・海翔高校を津島北高校に統廃合すると発表しました。子どもたちの「学びの場」を守るため、地域の公教育の拠点である県立高校つぶしは許しません。

「地域の学校」や進学を希望する子どもたちの「最後の砦」となる学校がなくなれば、その地域の活力も低下します。

check!

1

県立高校の定員には
ゆとりがあって当たり前!

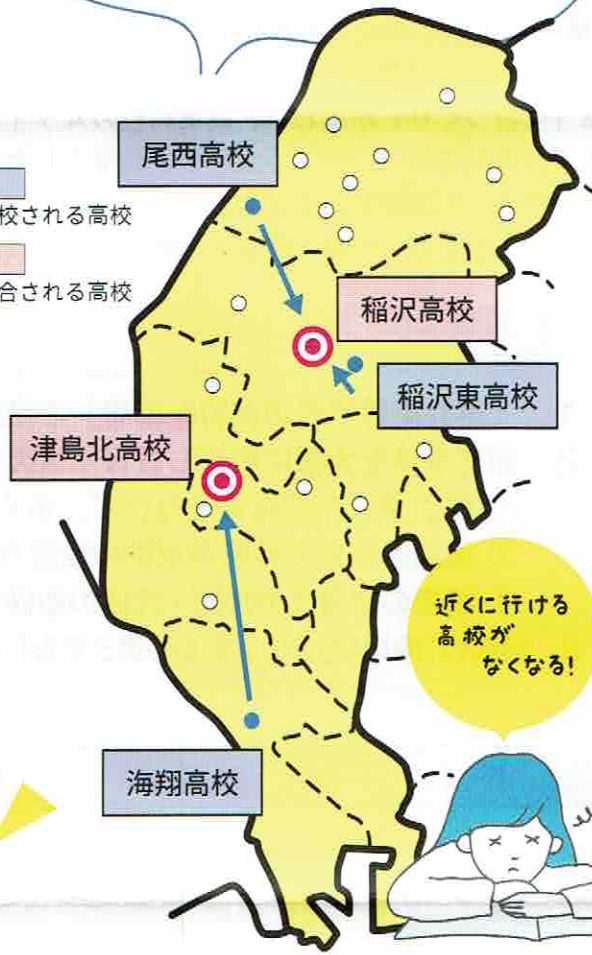
県教委は、定員割れを理由に県立高校の統廃合を計画していますが、ゆきとどいた教育をすすめるために、県立高校の「定員」には「ゆとり」があって当然です。

check!

2

愛知県の教育予算は全国
最低レベル、教育予算を
大幅に増やすことが必要です

愛知県の、高等学校全日制生徒1人当たりの教育費(96.6万円)は全国最低です。こうした貧困な教育予算を増額することをせず、安上がりの教育(統廃合)をすることは問題です。



地域の学校を残して
少人数学級にすれば...

check!
3

「序列化」や「人材づくり」
につながる「学科改編」
になる恐れがあります

犬山南高校や御津高校の「学科改編」では、「グローバル化する産業からの人材ニーズに対応」「民間の活力の導入」などどうたい、企業が必要とする「人材づくり」の場とされようとしています。さらに商業高校の4タイプへの再編は、学校の「序列化」を一層すすめる恐れがあります。



憲法の理念を生かし、子どもと教育を守る愛知の会

子どもたちの学びを保障するため 県立高校の「学校統廃合」や「学科改編」の撤回を求める署名

2022年

愛知県教育委員会 教育長様

貴教育委員会は2021年12月、「県立高等学校再編将来構想」（以下「構想」）を発表しました。「構想」では2023年度より、稲沢高校・稲沢東高校・尾西高校を稲沢高校に「統合」、津島北高校・海翔高校を津島北高校に「統合」する計画です。また、「新しいタイプの学校の設置」として、犬山南高校を「DX人材」や「起業家マインド育成」を目的とした学校に「学科改編」、「多様な生徒を受け入れるインクルーシブな学校」として、御津高校を全日制（単位制）と昼間定時制（単位制）を併設した学校に「学科改編」する計画です。さらに、「企業が求める人材育成」として、商業科10校を「高度な専門性を身に付ける学校」「地域密着型の学校」「デジタル人材育成」「就職を目標とする学校」の4タイプに「学科改編」する計画です。

「構想」では、中学校卒業生数が2035年度には約13,000人減少することを示し、「具体的な取組を検討し、順次、公表」するとしており、統廃合や学科改編などが繰り返し押し寄せることが予想されます。また、企業が必要とする「人材づくり」が謳われ、商業高校の4タイプへの再編は、学校の「序列化」を一層すすめるものとなっています。県教委は、このような「学校統廃合」や「学科改編」ではなく、少人数学級の実現や施設・設備の改善等で教育条件を改善することにより、「中学校卒業生数の減少」や「県立高校ばなれ」に対応するべきです。

以上のことから、この「構想」の撤回を求め、下記について強く要請します。

記

- 1 「県立高等学校再編将来構想」を撤回すること。
- 2 教育予算を大幅に増やし教育環境の改善をすること。具体的には、
 - ① 県立学校の統廃合は行わず、多くの県民が求める少人数学級の実現をすること。
 - ② 愛知県独自で教職員定数の改善をおこない、ゆとりある教育環境を実現すること。
 - ③ 校舎の建替えや施設・設備の整備などを早急に行い、魅力ある県立学校を実現すること。
- 3 学校の「序列化」や、企業が必要とする「人材づくり」につながるような「学科改編」は行わないこと。

氏名	住所

※個人情報は、署名提出以外には使用しません。

取扱団体（ ）

【憲法の理念を生かし、子どもと教育を守る愛知の会】

連絡先 〒460-0007 名古屋市中区新栄 1-49-10 愛知県教育会館 5階 愛高教気付 TEL 052-261-8155

県立高校再編問題について考える県民集会 2月13日(日) 14:00～16:00 愛西市文化会館大研修室